み

準備は進んでいますか?

本格的な夏がやって来ます。

夏休

す

まだまだ、

うっ

とうしい

陽

族

2006年

が、どうお過ごしですか?

後もう少しで、梅雨明けで

す。

「萌黄通信」は写真入になりました。

配 ご 希 信 望 は、<u>kandsstg@jt4, so-net. ne. jp</u> までお知らせ下さい

* 社長ブログ「石材メンテナンスの旅」は じめました。

川下流で行われます。

K&Sホームページ<u>http://www.e-kands.jp</u>

毎年20万人が訪れて賑 2尺玉花火をはじめス お問合せ 発の花火が夜空を彩り、 ターマインなど約2万 電話 〇五五-二七二 市川三郷町

8月7日は花火の日 梨県のイベント 「神明の花火大会

会が、市川三郷町の笛吹 して、山梨県一の花火大

<u>萌黄通信</u>

発行元 有限会社ケイ・アンド・エス

本社山梨 電話 0556-22-3237 Fax 0556-22-3236

東京(営)電話 03-3431-0387

kandsstg@jt4, so-net, ne. jp

「イタリア紀行」⑦ 大公の宮廷ピッティ宮

ヴェッキオ橋の南西に位置するピッティ宮は正面の幅が 200M もあり壮大です。







ここは、元は、ルネッサンス期の最大規模の商人、ルーカ ッティの個人邸です。ここの敷地は、建物と同じく、横に広いと ころで、宮廷を抜けると、裏側には、ボーボリ庭園が延々と広が ってきます。この庭園内には、いろいろな時代様式の彫刻や噴水 や博物館もあり1日かけても見きれないところです。 ティ宮の一番奥には、防衛のためのベルヴェデーレ要塞があり、 高所にあるため、旧市街の眺望が美しい所です。



滑り止め特集・・・

石材再生友の会」会報誌(ケイ・アンド・エス)

(もえぎ)

NO.32

7 月号

http://www.e-kands.jp

らです。 引き合いが多いシーズンでもあります。 ている場合は、要注意です。 折し股関節の機能が失われる後遺症が残ったとのこと。 雨のシーズンですね。

に、滑り止め処理を行なう傾向が高くなってきています。 の石が敷いてあることがあり、これが、滑りやすくなっています。運動靴よりも

(薬品による滑り止め処理のお勧め)」

内での転倒事故は、転んだ側ではなく、建物側の管理不足と判断された場合、責 読売新聞からの記事ですが、要約すると、駅ビル内の通路床で、女性が転び、骨 任を負わないといけなくなることが、過去に起こり、賠償責任にまで発展したか 清掃が充分でなかったので事故が起きたとして、 賠償命令を下した (2200万 特に本磨きの石を外部に使ったり、滑りやすいタイルを使ったりし この時期は雨天時の転倒が多くて、滑り止め施工の この判決を境にしてからか、ビルのオーナー様 左の新聞記事は、平成13年11月28日の なぜかというと、建物内及びその敷地 判決は、管理会社の

や管理会社からの依頼も増え、特に公共性の高いビルなどからは、もしものため 円)旨が書かれています。 ーダーとして、また、道路との見切りの縁石として、よく本磨き(鏡面仕上げ) 石材の場合は、何がすべるかと言うと、玄関口にバーナー仕上げの回りに、ボ

> 石材・タイルにノンスリップ効果を与える方法 革靴の方が滑りやすいようです。

美観に変化が出ますし、経年変化とともにはがれてき 石材・タイルに、摩擦係数の高い、塗膜性の高

ます。

1

石材・タイルに滑りとめテープを貼る方法

ļ

場合は、滑り止め効果は高いですが、非常に汚れ易い いコートや、塗装をする方法。 防汚効果はありますが、持ちが悪いです。塗装の 透明なコートの場合

です。

3

すので、メリットがあると思います。 法ですと、石材の防汚処理の浸透性のコートも可能で す。また、長期間効果が持続します。しかも、 ッジを作ることで、 外観をほとんど変えず、高い滑り止め効果を発揮しま 薬品により、 摩擦係数を高める方法。 石材表面に非常に細かい凹凸のエ この方 素材の

よって、当社のお勧めは、 これになります。

ノンスリップ薬剤の特徴

摩擦係数を上げます。 的処理によって肉眼では確認できないエッジを作り、 石材(大理石・御影石・テラゾー)の表面に科学

- を保ちます。 施工素材に、 大きな変化を与えることなく、
- 響を及ぼさないで済みます 施工時間が短く済むので、 業務遂行上に多大な影
- もよりますが、平均3年~5年) ノンスリップ効果が長く持続します(歩行頻度に
- 般洗剤による洗浄でも充分です。 処理後のメンテナンスは、定期的な水洗浄もしく

は

- 雨天時の滑りや転びの事故が減少します。 る配慮は、益々重要な課題になってきますので、 高齢化が進む中、高齢者に対する安全性確保に対す 特に、濡れているときに、 摩擦係数が増すので、 事故
- になる前に、取り組みましょう。 滑ってからでは、遅すぎないように、要注意です。